

柏市 GIGA スクール



基本 コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～

目指す児童生徒像

生涯にわたって**学び続け**、
未来の柏をつくる

- 予測困難な社会の変化を前向きに受け止め、多様な人々と協働しながら様々な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる
- 学習の基盤となる情報活用能力を育成し、自ら学ぶ力を身に付け、生涯にわたって学び続けることができるようにする

取り組み

社会につながる活用
～ **情報活用能力育成**を目指した授業改善を通して ～

これまでの
教育実践



学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業改善

- 柏市としては、Stepを設定し、児童生徒が段階的に経験を重ね、学んだことを使い鍛える中で、基本的なスキルを身に付けられるようにしていきます。
- 様々な場面でICTを活用し、情報を収集、整理、比較検討していく中で、情報活用能力を育成していきます
- 指導者は基礎となる点を指導し、児童生徒がそれを繰り返し活用しながら、深い学びへとつなげていく…その過程で、学び方、知識の活用の仕方を身に付けていきます

環境

1人1台端末
学びの環境整備

GIGAスクール環境

- 1人1台のタブレット端末
- 高速大容量のネットワーク環境
- クラウド活用

令和の時代の学びへ

タブレット端末を、えんぴつやノートと同じ
**文房具のように、いつでも必要な時に
自分で選択して活用する**



自ら学び続ける力

Step3

教科の学びをつなぐ

情報活用能力の発揮

探究的な学び

自己調整

(様々場面でも)

自己制御

(同じ場面で)

模倣

(実践を繰り返し精緻化)

観察

(スキルや方略の理解)

受動

(言われたとおりに)

段階的に子どもも主体へ

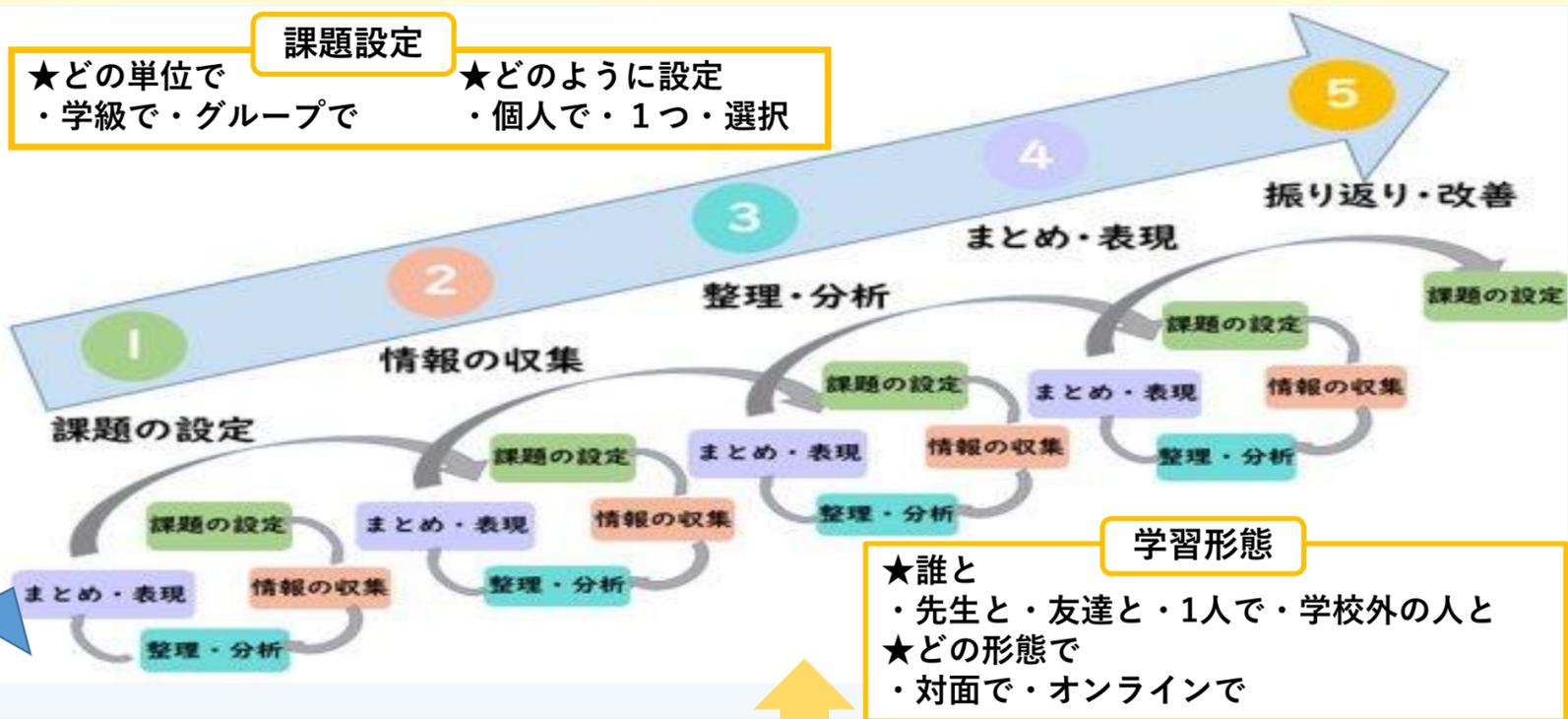
一人一人を
主語に

R6

課題設定

★どの単位で
・学級で・グループで

★どのように設定
・個人で・1つ・選択



学習形態

★誰と
・先生と・友達と・1人で・学校外の人と
★どの形態で
・対面で・オンラインで

学びの質の向上
学び方を学ぶ

R5

Step2 教科の学びを深める

教科の見方・考え方

情報活用能力の育成

課題の設定
情報の収集
整理・分析
まとめ・表現
振り返り・改善

場面での活用

R4

Step1 すぐにでも どの教科でも 誰でも活かせる

個に応じた学び

協働的な学び

一体的に充実

Step0 いつでもちょこっと使う

朝

今日の予定
今日の目標
今日の天気
今日は何の日
オンラインドリル

休み時間

日誌記入
スキルアップ
オンラインドリル

授業

デジタル教材の利用
授業の振り返りの蓄積
調べ学習
動画を見る
オンラインドリル
写真の提示

R3

支える土台

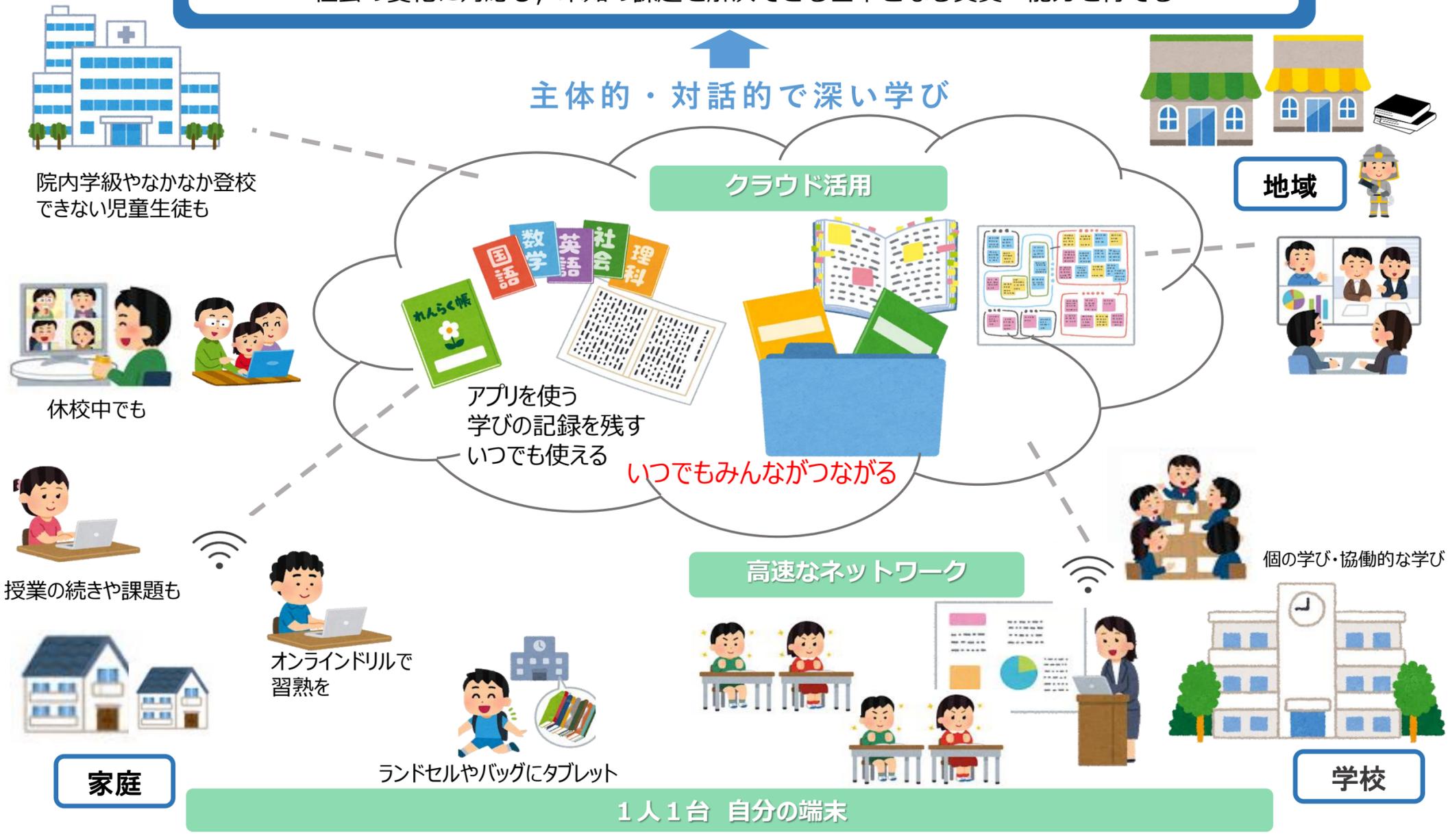
・ICT支援員の配置

・1to1委員会の実践

・柏市GIGAWebや掲示板にて情報の提供等

学びの環境

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる
 ～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本となる資質・能力を育てる～



令和6年度計画 Step3の実施に向けて

柏市の先生が柔軟に、1人1台端末を活用した授業が実施できることを目指します

		R5 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
経験を重ねる ↑	Step3 学びをつなぐ	情報活用能力の発揮、探究的な学びの実現（一人一人の子どもを主語とした学び、学びの自己調整）												
	Step2 学びを深める	情報活用能力の育成（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り・改善）												
	Step1 各教科での簡単な活用	Step0の経験を生かして各教科の学習に取り入れる（7つの学習場面の意識、個の学び・協働的な学びの一体的な充実）												
体験する 使う ↑	Step0 日常的な活用	朝の会、朝学習の時間、休み時間、授業、委員会、係活動、家庭学習等の日常的な活用												
	情報活用研修講座					10講座希望研修								
	プログラミング研修講座						悉皆研修							
	ICT支援員等による校内研修	各校に常駐するICT支援員による希望研修												
	情報教育担当者連絡会		第1回										第2回	
	転入、初任者研修	希望研修	希望研修				悉皆							
環境整備	サポート体制等	ICT支援員の配置 支援体制の工夫												
		情報共有掲示板の運用												
		1人1台端末を活用した授業改善検討委員会（1to1委員会）												
		1人1台端末を活用した授業改善検討委員会による授業実践報告会リーフレットの配付												

教科の学びをつなぐ

教科の学びを深める

情報活用能力育成の視点を持った授業展開

1人1台端末を活用した授業改善検討委員による実践から 【例】小学5年 国語「AIの暮らし」
身につけたい力

- ・1つのテーマに関して、目的意識をもって情報を収集する力（情報の収集）
- ・利点の立場や問題点の立場に情報を整理し、根拠をもって自分の考えを組み立てる力（整理・分析）
- ・自分の主張と根拠を合わせ、説得力のある発表資料を作成する力（まとめ・表現）
- ・主張と根拠は合っているか、説得力のある工夫はあったかなど、観点をもちながら相手の意見を聞き取る力（振り返り・改善）

子どもたちが目的意識をもって

学びのプロセス

振り返り・改善

振り返り改善 作成した資料を効果的に使いながらミニディベートを行った。聞き手は、主張と根拠はつながっているかなどの視点を持ちながら、討論を聞く。formsを使って、単元の振り返りを行った。

まとめ表現 クラゲチャートやJamboardに整理された情報を参考にしながらミニディベートの発表用資料を作成していく。

すでにJamboardで必要な資料は整理されているので、短時間でスライドを作成していく。

まとめ・表現

整理分析

「自分の主張」
接客がロボットになることは必要！

「相手の主張」
いろいろな人に対応できる！

主張の根拠や理由を、詳しく文章やグラフなどの資料を使って表していく。(Jamboard)

主張の根拠や理由が妥当か同じ立場同士で確認する。相手への質問や反論も協議する。

整理・分析

情報の収集

「ミニディベート」という伝え方の手段を知り、使えるようになるという目標もあるので、今回はテーマや立場を教師側で設定し、自分の個人的な感情があまり入らないように配慮した。「事実」や「根拠」のある情報が必要だということを再確認し、情報をコラボノートに収集していった。

コラボノートのページで情報の種類を分けた。ミニディベートの際に必要な「画像」や「グラフ」などの資料も集めた。

インターネットなどから読み取って得た情報は「青色」、自分が考えた意見は「黄色」など、付箋の色で情報の種類を分けた。

情報の収集

課題の設定

ミニディベートという伝え方の形態は初めての経験なので、スライド資料を作成して、どのようなものなのかを共通理解した。

学習計画は、クラスルームに載せていつでも確認できるようにする。

ミニディベートの説明など、全体の説明で使った資料も、いつでも確認できるようにしておく。

課題の設定

学びの自己調整

何を、どのように行うか
自己選択

